

香取市教育委員会会議録

令和8年1月定例会議

- | | | | | |
|---|-----------|---|---------|---------|
| 1 | 期 日 | 令和8年1月22日（木） | 開会 | 午前8時45分 |
| | | | 閉会 | 午前9時30分 |
| 2 | 場 所 | 香取市役所5階 504会議室 | | |
| 3 | 出席委員 | 教育長 | 堀 越 洋 | |
| | | 教育長職務代理者 | 伊 藤 博 和 | |
| | | 教育委員 | 芦 田 優 子 | |
| | | 教育委員 | 鳥 次 由紀子 | |
| | | 教育委員 | 増 田 進 一 | |
| 4 | 傍聴者 | なし | | |
| 5 | 出席職員 | 教育次長 | 本 官 茂 幸 | |
| | | 教育総務課長 | 石 橋 敏 幸 | |
| | | 学校教育課長 | 高 橋 進 | |
| | | 生涯学習課長 | 福 代 宏 | |
| | | 生涯学習課副参事 | 菅 生 和 代 | |
| | | 香取市学校給食センター所長 | 林 千 鶴 | |
| | | 教育総務課教育総務班長 | 大八木 奈津子 | |
| 6 | 開会宣言 | 堀越 教育長 | | |
| 7 | 会議録署名人の指名 | 芦田 委員 | 鳥次 委員 | |
| 8 | 前回会議録の承認 | 令和7年12月定例会議録を承認 | | |
| 9 | 教育長報告 | 今回は文書にて報告に代えさせていただきます。
ご覧いただきまして、何かご質問等ございましたら後ほどお問い合わせの
ほう、お願いいたします。 | | |

10 議決事項

議案第1号

香取市教育委員会事務事業点検・評価報告書について

教育長

議案第1号「香取市教育委員会事務事業点検・評価報告書について」、事務局から提案理由説明をお願いいたします。

教育総務課長

議案第1号「香取市教育委員会事務事業点検・評価報告書について」ご説明いたします。

本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、毎年、教育委員会の所管する事務について、点検・評価を行い、その結果を議会に提出し、公表することとなっていることから、前年度の令和6年度の評価について、本日提案させていただきました。

それでは、お手元の「事務事業点検・評価報告書」により、各施策につきまして、順次、担当課より説明いたします。

はじめに「施策名4-1 教育施設・環境の整備」は、私から、要点をご説明させていただきます。

左側上段の「施策の現状」ですが、「5年後の目指す姿」として、香取市学校等適正配置計画実施プランに基づき、学校の適正配置や教育環境の改善及び学校施設の長寿命化が図られているとしております。現状、少子化による学校の小規模化は市内でも急激に進行しており、教育環境の維持向上や機会均等の観点から、実施プランに基づく学校再編に取り組んでいるところです。この状況に加えて、多くの学校施設で長寿命化と言われる老朽化対策や猛暑などの異常気象に対応するため、空調設備など学習環境の整備が求められている状況であり、学校統合の対象となりうる学校の動向を注視しつつ、かつ事業費にも配慮しながら、計画的に施設整備や修繕を進めなければならないという問題があります。

次に、左側下段の「業績評価指標」の進捗ですが、指標の「小学校数」「中学校数」は、学校再編後の学校数を示しますが、令和6年度は現状維持です。また、「長寿命化改修工事の完了した施設数」は、小見川北小が設計段階のため、令和6年度は現状維持です。

次に、右側下段「施策の評価」です。「これまでの取組と今後の課題」についてですが、記載のとおり、学校再編では、実施プランに基づき、平成30年度以降は、4件の学校統合があり、小学校は22校から7校減で現在の15校になっております。今後も児童生徒数は減少し、学校の小規模化は一層進行することから、引き続き市民協働による学校再編を進める必要があります。

また、学校施設の長寿命化改修事業につきましては、小見川中央小学校屋内運動場の改修事業が初めてのケースで令和5年度末に完了しております。次いで、小見川北小学校校舎の改修事業を計画し、令和6年度から設計業務に着手しております。今後の課題としては、老朽施設が多いことから、学校再編も踏まえ、改修計画の見直しを図りながら、予算の平準化を図りつつ事業を推進していく必要があると考えます。

最後に、「総合評価及び今後の方針」です。学校等適正配置計画実施プランの推進についてですが、繰り返しとなりますが、少子化の進行は著しく、香取市における許容規模を満たさない小中学校の解消には至っていないため、児童生徒数の推移を勘案し、再編を進めていく必要があります。長寿命化等、学校施設の改修事業については、建築後40年を経過する施設が増加するため、事業費の平準化やコストの低減を図りながら、計画的に進めていく必要があります。それと同時に旧学校施設についても、財産管理部局と連携し、利活用について民間活力等の導入を図っていく必要があります。

以上のことから、資料の右上、令和6年度の「目指す方向性の達成度」については、進捗状況から「普通」としています。

学校教育課長

続いて「施策名4-2 学校教育」について、ご説明いたします。

「5年後の目指す姿」として、変化の激しい社会情勢の中で、児童生徒がたくましく生き抜く力の確実な育成に向けて、確かな学力・豊かな心・健康やかな体を育める教育環境の充実に取り組んでまいります。具体的柱として、長期欠席対策と学力向上を挙げており、成果指標もそちらを記載しております。

長期欠席につきましては、令和3年度から「出席停止・忌引きの日数」も登校しなかった日数に計上しているため数値が上昇しているのに加え、コロナ禍といった要因も加わり数値は増加しております。こちらは全国・県平均に比べ低い状況ではありますが、個に応じた手立ての充実という視点で、継続した手立てを講じることが必須と考えております。

全国学力学習状況調査につきまして、小学校算数、中学校数学ともに全国平均を下回る結果となっており、それを受け、昨年度から大きく手立てを話し合ったところです。

次に、具体的な取組と今後の課題及び総合評価としての今後の方向性についてです。

まず、長期欠席対策として該当児童生徒の状況を細かく把握し、学校・保護者及び関係課・関係機関が連携し、速やかに長欠児童生徒の解消に努めております。特に、児童生徒の実態に応じた個別支援を充実させ、不登校やいじめなど、生徒指導上の問題の未然防止、早期発見、早期対応に向けて確実に取り組みます。今年度から、ふれあいステーション佐原を開設し、事業拡大を図ったところです。今後も長期欠席対策の充実を図ってまいります。

学力向上につきましては、「学力向上推進委員会」を効果的に機能させるとともに、「リーディングスキルテスト」の中学校での全校実施、全国学力学習状況調査の過去問題のドリル化など、具体的、体系的方策をもって実効性のある手立てを進めております。これらに加えて、ICTの活用についても、今年度はタブレットの更新も行いますのでさらに充実させていきたいと思っております。こうしたことの継続が重要であると考えておりますので、注力してまいります。

以上のことから施策目標の達成度は「普通」となります。以上です。

「施策名4-3 青少年健全育成」につきまして、説明させていただきます。

最初に「5年後の目指す姿」ですが、次世代を担う青少年一人ひとりが、地域社会に適応しながら、健やかに成長することを目指しております。

「業績評価指標」に基づく成果目標の進捗状況につきましては、青少年相談員事業の参加者数で、目標値を上回る結果となっております。家庭教育学級では、健全育成への貢献度に関する保護者や学校に対してのアンケート結果に基づくもので、こちらも目標値を上回る結果となりました。

「これまでの取組」の課題でございますが、青少年の健全育成の担い手であった「子ども会」が、少子化等により組織の縮小が顕著となり、組織の在り方を検討してまいりましたが、残念ながら令和6年度をもって解散となっております。

今後の方向性等につきましては、地域の資源や人材活用を図りながら、豊かな人間性や社会性を身につける活動の場を提供するなど、時代に即した市民のニーズに答えていく必要性があります。また、家庭での教育力の向上のため、各学校で実施する家庭教育学級等で、地域との連携を一層深め、実効性ある事業とすることが重要であると考えております。以上によりまして、「施策の全体評価」といたしまして、達成度を「普通」とさせていただいております。

続いて、「施策名4-4 生涯学習」についてご説明いたします。

「5年後の目指す姿」は、市民が文化・芸術活動に親しむ機会や発表する機会が得られ、市民が主体となった文化創造に向けた質の高い取組が進められていることを目指しております。

「業績評価指標」に基づく成果目標の進捗状況につきましては、教室・講座・イベント等の社会教育事業の参加数では目標値を上回って推移しております。

「これまでの取組」と今後の課題でございますが、市民の学習のニーズが多様化している中、公民館や図書館、生涯学習担当班で、アンケート結果等を踏まえ、講座・教室等の企画を検討し事業を推進しておりますが、活動拠点の一部である山田公民館や佐原文化会館については、施設や設備の老朽化が進んでいる状況です。

今後の方向性等につきましては、各世代のニーズや地域性などに配慮した取り組みやすい講座・教室等の企画の検討に加え、学習成果の発表の場にも参加しやすい工夫を検討してまいります。また、SNSやホームページなどを有効に活用し、積極的な情報提供に努め、生涯学習事業への参加や拠点施設の利活用が一層拡大できるよう取り組んでまいります。以上により、「施策の全体評価」としましては「普通」と評価させていただいております。

続きまして、「施策名4－6 歴史・文化・芸術」について、ご説明いたします。

「5年後の目指す姿」は、歴史を刻む市内指定文化財の計画的かつ適正な保存・活用が進むとともに、市民が芸術文化に親しむ機会が増え、積極的な参加により文化・芸術活動が盛んに行われることを目指しております。

「業績評価指標」に基づく成果目標の進捗状況につきまして、伊能忠敬記念館の入館者数がコロナ禍前（令和元年度以前の数値）の状況に回復してきております。また、文化会館の利用件数では、令和6年度に目標値を上回る結果となっております。

「これまでの取組」と今後の課題でございますが、文化財の活用につきましては、日本遺産事業へ積極的に参加するとともに、個別の保存活用計画の策定に取り組んでおります。無形民俗文化財については、少子高齢化による後継者不足により伝承芸能等の継承が難しくなっており、維持管理費などの支援の充実が重要になると考えております。

今後の方向性等につきましては、文化財保存活用地域計画に基づき、文化財等の総合的な保存と活用を推進し、日本遺産事業などを通じて佐原の町並み、佐原の山車行事、伊能忠敬などの文化的資源を観光資源としても有効に活用しながら、歴史文化のまちづくりに向けて取り組んでまいりたいと考えています。

以上により、「施策の全体評価」といたしましては、「高い」という形で達成評価をさせていただいております。

生涯学習課 副参事

続いて、「施策4－5 スポーツの推進」になります。

個々の希望やライフステージに応じた多様なスポーツに親しむ人や団体が増え、健康で活力ある生活を送ることを「5年後の目指す姿」とし、施策を進めてきました。

令和5年6月に「第3次香取市生涯スポーツ推進計画」を策定し、生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ環境の整備を推進していますが、子どもの体力低下や高齢化の進行に対する問題解決の手掛かりとして、スポーツへの期待は高まっています。

生涯スポーツの普及に向けた取り組みとして、黒部川での市民レガッタの開催や山田B&G海洋センター艇庫の建替えとカヌーSUPの用具更新により、水上スポーツを楽しめる機会を創出しています。また香取神宮を会場に小江戸マラソン大会を開催し、健康増進の向上とスポーツツーリズムの観点から市のPRに繋げているところです。

一方で、部活動の地域移行推進に伴い、スポーツ指導者を育成すること、スポーツ施設の多くが老朽化していることから、適正な管理運営とスポーツ施設整備計画を作成すること、また多様化するスポーツへのニーズを捉えつつ、市民が気軽にスポーツ活動ができる環境整備を進めることが課題となっております。

また、「業績評価指標」からは、スポーツ施設利用者が増加傾向で、コロナ禍前に戻りつつあることがわかります。しかしながら、スポーツ指導者養成研修等への参加は横ばいで、指導者の確保は部活動の地域移行及びスポーツ推進に大きな役割を果たすことから、指導者の育成が必要であると感じます。

以上を踏まえての「総合評価」として、市民がスポーツに親しみ、健康づくりに取り組める機会の提供に努め、多くの市民ニーズが満たされるよう、既存施設の統廃合を含め再編整備の方向性を示していきます。最後に、「目指す方向性の達成度」は、「普通」といたしました。

教育総務課長

説明は以上でございます。

教育長

ただいま提案理由の説明が終わりました。それでは、議案第1号について質疑に入りたいと思います。ご質問等ございましたら、お願いします。

委員・質疑

「4-1 教育施設・環境の整備」の中で、「他市の取り組みから得られる示唆」の欄が空欄なのですが、こちらは特に記載する事項がないということでしょうか。

「4-2 学校教育」の中で、「業績評価指標」の中の「通学路における交通事故件数」と「地元食材の使用率」について、現状・評価の方で何もコメントがないので、もう少し詳しく教えていただければと思います。

教育総務課長

「4-1 教育施設・環境の整備」ですが、特に記載することがございませんでした。

教育長

関連してですが最近、小中学校の適正規模と適正配置について、文部科学省のオンライン研修を受講しました。どの市でも同じように、学校の適正化プランを作っているという現状であるとのことでした。

学校教育課長

通学路についてですが、八街市での痛ましい事故、さらには本市でも2年前に大きめの事故がありましたことを受けて、通学路安全点検プログラムをかなり重点化して、継続して行っております。

その時だけでなく、常に窓口として、問い合わせやご意見いただいたものについて迅速に対応するという方針で行っております。

軽微な交通事故というものは今年もありまして、ヒヤリハットというか、車と多少接触してしまったという事故は数件ありましたが、大きな事故は未然に防ぐという意識が高まっているように感じ取れております。

給食センター
所長

地元食材の使用率について、お答えさせていただきます。

令和6年度が50パーセントと前年に比べ数値が下がっている点でございますが、これまで平均60パーセント程度で推移してまいりましたが、令和6年度については猛暑の影響によりまして、彩り・栄養価の面で多く使用する人参・長ネギなどの地元産食材がほぼ採れなかったということで、9月から11月あたりに通常でしたら20パーセント程度入ってくる地元産食材が約6パーセントと極端に下がっております。この影響によりまして、令和6年度は地元食材の使用率が50パーセントと激減してしまったという次第です。

また、令和7年度につきましては、おおよそ60パーセント、12月については千葉県産を含め84パーセント程度、地元産食材を使用できておりますので、令和7年度につきましては回復の見込みでございます。

委員・質疑	「施策名4-2 学校教育」下段の「長期欠席児童の割合」についてですが、目標値が1.06パーセントで実績が4.14パーセントとなっているのですが、この数値は全国的とか千葉県内で見てもどのような状況ですか。
学校教育課長	具体例で申し上げますと、令和6年度は小学校が35名、中学校が52名で合計87名、令和7年度は10月までで63名です。同時期で見ても0.2パーセントの微増です。これは県平均・国平均からみて下回っております。
委員・意見	目標をもっと上げてよいのかと思います。
委員・質疑	「施策名4-2 学校教育」について、国語と数学が全国平均よりも下回っているとのことですが、国語はリーディングスキルが機能されているところかと思いますが、数学については何か具体的な手立てはできているのでしょうか。
学校教育課長	色々調査している中で、数学・算数こそ読解力が大事であろうということになりました。 算数等は文章問題の文が圧倒的に短く、短い文の要点を読み取る力とは読解力が重要であるという結論になりました。読解力の向上を目指しているのは国語だけでなく、むしろ数学の方に力を入れております。 これまで数学が振るわなかった中学校が、読解力に力を入れたことによって県平均を大きく上回ったという実績が今年度は出てきましたので、これからの期待ができるかと手ごたえを感じたところです。 急に大きくという結果が出にくい部分ではありますが、辛抱強く粘り強く行いたいと思っております。
教育長	読解力に関しては、例えば、中学校の数学の一番目の問題で素数を選ぶ問題がありました。1は素数ではないのに、1を選ぶ生徒が非常に多く見られました。要するに、定義がわかってないということです。そういう傾向が全国的に見られました。
委員・質疑	「施策名4-1 教育施設・環境の整備」内、学校再編についてですが、数年にわたり何校も統合・再編して、学校数が少なくなってきました。小学校について直近では、数年前に水の郷小学校ができたところです。中学校については佐原第三中学校が平成の終わりころに佐原中学校と統合しましたが、その後も生徒数がかなり減少しているであろう香取中学校や新島中学校などの小規模の中学校は、再編を進めていく計画に入っていると思います。さらに、香取中学校に関しては指定校変更で現段階でも佐原中学校に随分の生徒が移っている状況があるかと思います。そこで、中学校の統合について、今後どのように進んでいくのか教えていただきたい。
教育総務課長	委員がおっしゃったように、少子化が進む中で中学校に関しては、香取中学校や新島中学校、小規模という点では栗源中学校が学年1学級となっております。その3校を基本的には小さい学校としてみております。 現状としては小学校の再編を行っていますが、中学校の方も今後の課題として取り組んでいきます。一気にということはできませんし、学校の方の部活動の地域移行などの問題もありますので、それも含めながら考えていきたいと思っております。 市民協働という原則がありますので、丁寧に進めていきたいと思っております。

- 委員・意見 「他市の取り組みから得られる示唆」は空欄になってますけど、近隣でいうと銚子市が8校あった中学校が、令和9年度には2校にするようです。スピード感をもって、校舎をの建て直しなどの問題も含めて検討しているようなので、他市の情報も得ていただければと思います。
- 委員・質疑 「施先名4－2学校教育」についてですが、長期欠席児童数が国や県と比べても少ないことは非常に良いことと思います。香取市のふれあいステーションは小見川と佐原にあるわけですが、今は何人くらいが利用しているのでしょうか。
- 学校教育課長 登録者数でみると、ともに10名程度です。定期的、ほぼ毎日利用している児童生徒は佐原では3名程度、小見川の方は1、2名です。小見川・山田の方が今は少なめになっています。隔年で小見川・山田方面と佐原の人数の多い方が変わってまして、去年までは山田地区の児童生徒が多く、小見川の方が多かったのですが卒業して、今年は佐原の方が多くなりました。
- 委員・質疑 継続して支援センターを設置した状態で、利用者がいるということですね。できるならば、不登校の子供たちがそこに行ってもらいたいんじゃないかと思うのですが、そういった手立ては各学校からしていただくのでしょうか。
- 学校教育課長 教育委員会に配置されている訪問相談員と学校で、いろいろな施設と定期的に連絡・情報交換を行っています。特に、訪問相談員は元教員でしたり実際の教員なので、情報交換も密に行っています。
- 委員・質疑 中学3年生もいるでしょうし、手厚く行っているということですね。
- 学校教育課長 はい。
- 教育長 その他、質問等ございませんか。
- 委員 ありません。
- 教育長 議案第1号「香取市教育委員会事務事業点検・評価報告書について」、採決します。賛成の方は挙手を願います。
- 委員・審議 全員賛成
- 教育長 全員賛成と認め、議案第1号は原案のとおり可決しました。

1.1 報告事項

報告第1号

令和7年度香取市二十歳の集いの実施報告について

教育長

報告第1号「令和7年度香取市二十歳の集いの実施報告について」、事務局から説明をお願いいたします。

生涯学習課長

報告第1号「令和7年度香取市二十歳の集いの実施報告について」ご説明させていただきます。

去る1月11日に開催いたしました、二十歳の集いの実施について、ご報告させていただきます。

議案書の5ページ及びお配りしております資料をご覧ください。

当日は教育委員の皆様にも、新年のご多用のところご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。

今年の二十歳の集いにつきましても、昨年同様、佐原文化会館を会場として2部制により、無事開催することができました。

当日の二十歳の対象者数は645人で、そのうち出席者数は482人でした。出席率は74.7パーセントで、昨年の出席率77.9パーセント比べると3.2ポイントの減の結果となっております。

また、家族等の観覧者は全体で320人、ウェブ配信同時視聴人数は合計で104人でした。

教育長

ただいまの説明について、質問等ございませんか。

委員・意見

二十歳の集いに出席した保護者の方から意見をいただいたのですが、現在は保護者は1名のみが会場に入れるところです。大体はお母様が入れることが多いと思うのですが、中にはお父様も一緒に来られて待っている方もいます。そういったとき、外で待っているのは寒いのでせめてロビーに入れてもらえないかという意見がございました。

また、会場の後ろの方の席が空いています。生徒数の減少に伴い参加者自体が前の方にいくので、保護者の席を広げて2名参加できればという意見もありました。

もしくは、上限2名までとして、但し書きで当日の人数によっては1名様のみのお入場をお願いする可能性もありますなど、臨機応変な対応をしていただけるとありがたいという声もいただいたので、次回検討していただけますよう、お願いします。

教育長

貴重なご意見、ありがとうございました。

教育長

その他、質問等ございませんか。

委員

ありません。

教育長

以上で報告第1号は終わります。

1 2 その他

教育長 委員の皆様から何かありますか。

委員 ありません。

教育長 事務局から何かありますか。

教育総務課長 学校再編について
2月定例教育委員会議について

1 3 閉会宣言 堀越 教育長